

平成20年度実践型人材養成システム普及のための地域モデル事業に関する調査

このアンケートは、社団法人日本鍛造協会（以下、「協会」という）の会員企業において、「平成20年度実践型人材養成システム普及のための地域モデル事業」（以下、「本事業」という）の「実習訓練（OJT）」、「座学（Off-JT）」に参加・実施した企業（受講者の教育管理者または人事・人材開発の本事業ご担当者）に、その実施状況と習得状況、改善点・課題、全体総括及び今後の意向等のお考えをお尋ねするものです。調査票はメール（添付）の送受信にて送付・回収致します。調査票へのご記入は、添付ファイルに直接打ち込み・保存して、ご送信をお願い致します。ご多忙のところ誠に恐縮ですが、是非ともご協力くださいますようお願い申し上げます。

< ご記入にあたってのお願い >

1. 設問の回答は、ご意見等を記入欄に自由にご記入していただくようになっています。
2. ご記入が終わりましたら、2月13日(金)を目処にメール（添付）にてご返信ください。
3. 受講者本人が記入する問は、必ずご本人がご記入ください。
4. 別紙「教育訓練カリキュラム」（座学の教科と時間配分、実習訓練項目一覧表）を添付。

< この調査についての問い合わせ先及び返送先 >

問い合わせ・返送先：社団法人日本鍛造協会

担当：事務局 鈴木、吉岡（E-mail：kyokai@jfa-tanzo.jp）

住所：〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4丁目9-2 本栄ビル9階

TEL：03-5643-5321 FAX：03-3664-6470

貴社について

問1 貴社名をご記入ください。

貴社名	
-----	--

問2 お手数をおかけしますが、本アンケートにご回答される方の所属部署名とお名前をご記入ください。

所属部署名		お名前	
TEL		FAX	

問3 本事業参加社員（受講者）の所属部署が変更になった場合は新所属部署をご記入願います。

新所属部署		お名前	
新所属部署		お名前	
新所属部署		お名前	
新所属部署		お名前	

・実習訓練の実施について

問4 実習生への実習訓練期間中の指導等についてお伺いします。その実施方法や指導体制、期間中における日々の習得状況の確認・フィードバックについてお聞きします。さらに、本事業に参加するにあたって、効果的な実習訓練を実施する上で貴社が検討・工夫した点及び実施における問題点・反省点等についてもお教えてください。

実習訓練の実施方法（やり方）（例えば、職務ごとに時間配分を変えた、職務を絞って（具体的にどの職務か）実施等）についてお聞きします。

具体的な社内の指導体制（例えば、複数の職務にまたがるが主たるメインの指導担当者を設けて責任指導体制にした、あるいは一人だけでなく複数の指導者の目で受講者の指導や動機付け、質問等を受け持った等）についてお聞きします。人事と各部門がどのような検討を行った等もお聞かせください。

実習生との日々のコミュニケーションや習得状況の確認方法（例えば、日誌（業務報告）を付けさせ、教育担当者とのコミュニケーションを深めるとともに、習得状況や課題を把握した）等についてお聞きします。

効果的な実習訓練を実施する上で貴社が検討・工夫した点及び実施における問題点・反省点（例えば、実習訓練受講マニュアルを作成し受講者が主体的に勉強できるように工夫した、実習訓練項目をさらに細かい行動レベルに分解してできていなかった場合の問題箇所を本人自身が明確にできるように工夫した等）等についてお聞きします。

問5 実習生の実習後の働き方の変化等（意識や行動）についてお聞かせください。どのような些細なことでも構いません。例えば、技術ノートを作り、わからないことは先輩や上司に質問し、自身の能力を高める意識が芽生えた等、具体的にご記入ください。

問6 実習訓練の実施にあたって発生した問題点や反省点、改善点及び課題等をお教えてください。

問7 実習訓練の総括について、ご担当者のご感想等お聞かせください。

問8 実習訓練受講者ご本人にお聞きします。実習訓練終了から約半年が経過いたしました。実習訓練に関して改めてあなたのお考えやご意見を改めてお聞きします。お聞きしたい視点は次の「役立った点」、「活かせる点」、「興味を持った(興味が膨らんだ)点」です。また、「実習訓練を受けていたときまたは実習訓練の修了直後」と「約半年後の現在」でのお考えや行動に変化がありましたら、それについても「改めて気づいたこと、感じたこと」、「実習で学び、現在の日々の業務で実行実践(取り組んでいること)していること」(どんな些細なことでも構いませんのでお教えてください)という視点で具体的にご記入ください。

・座学の受講について

問9 座学の講義内容や運営等に関するご意見やご要望についてお聞かせください。また、座学の終了後の受講者の仕事への取組みや働き方等の様子もお知らせください。

座学の教科の配分や講義内容、テキスト、運営等に関する意見や要望（例えば、現場の写真や動画で説明がよかった等）についてお聞きします。

座学の教科の配分は、別紙のとおり平成20年度は 鍛造基礎講座、 鍛造技術・技能講座、 鍛造関連知識・技術講座それぞれ三分の二ずつで実施しました

開催日（曜日）に関するご意見やご要望についてお聞きします。

平成20年度は金曜日と土曜日の1泊2日で実施しました

座学の終了後の受講者の仕事への取組みや働き方等の様子についてお聞きします。

問10 座学受講者ご本人にお聞きします。座学の受講修了から約半年が経過しました。座学に関するあなたのご感想やお考え、ご意見を改めてお聞きします。お聞きしたい視点は次の「役立った点」、「活かせる点」、「興味を持った(興味が膨らんだ)点」です。また、「座学を受講していたときまたは座学の修了直後」と「約半年後の現在」でのお考えや自身の行動等に変化がありましたら、それについても「改めて気づいたこと、感じたこと」、「実習で学び、現在の日々の業務で実行実践(取り組んでいること)していること」(どんな些細なことでも構いませんのでお教えてください)という視点で具体的にご記入ください。

・本事業に関する意見について

問 1 1 厚生労働省の本事業に関するご意見やご要望（厚生労働省に対する）についてお聞かせください。

問 1 2 人材育成や教育訓練について日本鍛造協会へのご要望や期待がございましたらご記入ください。また、世界的な景気の低迷が顕著になっている現状において、今後の人材育成や教育訓練に対する貴社のお考えや対応についてお聞かせください。

～ 以上で終わりです。ご協力ありがとうございました ～